（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	賀数清孝	所　属	理学部物質地球科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.35	・卒業研究学生2名及び修士学生1名を指導する。 ・波動論、量子力学特論，量子力学演習，複素関数論を担当する。 ・オフィスアワーの充実など、学生が質問に来やすいように時間を設定し、丁寧に対応し指導する。	0.35	・卒業研究学生2名及び修士学生1名を指導した。 ・波動論、量子力学特論，量子力学演習，複素関数論を担当した。 ・オフィスアワーの充実など、学生が質問に来やすいように時間を設定し、丁寧に対応し指導した。
研究	0.35	・量子位相，量子情報，熱場の理論の研究を推進する。 ・量子位相とランジュバン方程式の関連の解明を目指す。	0.10	・量子情報理論，特に，量子もつれの研究の現状を調べた。研究成果にはまだつながっていない。
社会貢献	0.10	・免許更新講習を実施する。 ・オープンキャンパスに積極的に参加する。 ・社会から専門性を生かした要請があれば積極的に対応する。	0.30	・免許更新講習を8月に実施した。 ・オープンキャンパスに委員として積極的に参加した。 ・7月に南部の自治体の要請で「レーダー問題」について講演した。11月に公開講座「身のまわりの電磁波」を開いた。
管理運営	0.10	・生涯学習教育研究センター運営委員として貢献する。 ・物理系の非常勤講師や退職教員の教育研究環境を整備する。	0.15	・生涯学習教育研究センター運営委員として貢献した。特に，新しく公開講座を開設した。 ・物理系の非常勤講師や退職教員の教育研究環境（ブラインドなど）を整備した。
進路指導	0.10	・卒業研究学生、修士学生の進学、就職の指導に当たる。 ・就職支援、進学支援のために、必要な情報を収集し、提供する。	0.10	・卒業研究学生、修士学生の進学、就職の指導に当たり，3名とも就職先が決まった。 ・就職支援、進学支援のために、必要な情報を収集し、提供した。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	梯　祥郎	所　属	理学部・物質地球科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	物理数学IIおよび物性論の講義をとおして学生の基礎学力向上に努める. カリキュラム検討委員として教育内容・システムの改善に努める.	0.40	物理数学IIおよび物性論の講義をとおして学生の基礎学力向上に努めることができた. カリキュラム検討委員として教育内容・システムへの提言を行うことができた.
研究	0.45	第1原理動的CPA理論を遷移金属系に応用してその電子状態・反強磁性について定量的理解を目指す. 非対角有効媒質に基づく非局所射影演算子理論を第1原理計算に拡張する. 運動量依存電子相関変分理論を大学院学生と共に発展させる. これまでの成果を専門書として出版する.	0.40	目標をほぼ達成して原著論文2編, 専門書（単著, Springer）1冊を出版した.
社会貢献	0.00	予定された社会貢献はないが, 学内外からの要請があれば, 前向きに対応する.	0.05	学部紹介のため高校を訪問し, 高校生の進路選択に貢献した.
管理運営	0.10	物理系入試検討委員としてその業務を十分に果たす. 物理系カリキュラム検討委員としてその業務を十分に果たす.	0.10	物理系入試検討委員としてその業務を十分に果たした. 物理系カリキュラム検討委員としてその業務を十分に果たした.
進路指導	0.05	研究室所属学生の就職・進路に対して適切な助言・指導を行う.	0.05	研究室の学生に適切な助言・指導を行い, 全員進路が確定した.
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	瓜生　康史	所　属	理学部	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	「物理学入門I, II」,「プログラミング入門」,「計算物理学」,「基礎ゼミI, II」の講義，卒業研究指導，大学院生指導，及び「相対論的宇宙物理学入門」の大学院講義を行う。学生の理解度を把握しながら授業を進めることに注意する。特にコンピューター関連科目ついてはTAを採用し実習の際の質問にきめ細かく答えながら講義を進める。	0.35	学部向け講義については毎回講義の補助教材としてプリントを準備，学期中のレポートによる課し学生の理解度の把握，実習の補助のためのTAの活用など，計画通り行った。大学院講義は輪講形式で一般相対論の応用を取り扱った。修士３名の修士論文指導を行い，数値相対論の初期値データ計算コードの開発などを指導した。
研究	0.40	磁場を伴う高密度星計算法の定式化と数値計算コードの開発を進める。計画に沿って国内外の研究者と共同研究を行い，関連論文を2編投稿することを目標にする。共同研究者との相互訪問を実現するか，またはテレコンファレンスを利用して協力関係の緊密化を図る。関連する国際会議や学会において研究発表を行う。	0.35	連星ブラックホールの初期値データに関する論文を１編とプロシーディングス１編をギリシャ及びフランスの研究者と共著で出版した。共同研究者をギリシャより招へいした。高密度天体の研究会において磁場を伴う高密度星計算法の定式化と数値計算コードの開発について口頭発表した。
社会貢献	0.05	教員免許状更新講習の講師として，「パソコンで学ぶ物理学」について講習を行う。特に天文学・宇宙物理学のインターネットリソースを紹介と利用法について講演する。物理系公開講座の開催に貢献する。	0.05	計画通り教員免許状更新講習の講師として講習を行った。物理系公開講座に参加しインターネット上の天文学・宇宙物理学のコンテンツの紹介などを行った。
管理運営	0.10	物理系代議員として，系内の意見の集約や理学部と物理系間の意見交換行う。また，理学部代議員会での業務に貢献する。	0.10	物理系代議員として理学部代議会に参加し，代議会での議論を系に出来るだけ詳しく伝達するよう心掛けた。3年次指導教員として，きめ細かい学生指導，3年次学生の企画する物理系学生の行事に対する助言等を行った。
進路指導	0.15	3年次指導教員として，3年次学生の進路指導を含む全般的な指導に当たる。研究室内の4年次，修士2年の学生及び物理系の学生の進路に関する助言等を行う。また，物理系の宇宙科学に関係する進路を希望する学生に対し助言等を行う。	0.15	3年次学生の進路希望の把握に努め，就職や大学院進学など各学生の進路相談に対応した。また研究室の修士2年の学生3名の進路に関する助言を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	稲岡 毅 （いなおか たけし）	所　属	理学部 物質地球科学科 物理系	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・共通教育科目「物理学I・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」、大学院教育科目「素励起物理学」（前期課程）、「表面物理学」（後期課程）を担当する。 研究室では、4年次生の研究指導を行う。 ・4年次指導教員を務める。卒研発表会、修論発表会を実施する世話役を務める。 ・執筆中の教科書の4回目の校正を行い、出版する。	0.30	・共通教育科目「物理学I・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」、大学院教育科目「素励起物理学」（前期課程）の授業を行った。研究室では、4年次生の研究指導を行った。 ・4年次指導教員として、研究室配属、卒研発表会、修論発表会を実施する世話役を務めた。 ・応用数学の教科書の執筆を終えて、出版した。
研究	0.30	・国際誌に学術論文を投稿する。 ・所属する学会、研究会で研究発表を行う。 ・科研費の研究の進展を図る。 ・他大学の研究者と共同研究を行う。	0.30	・国際誌に学術論文が1編掲載され、1編を投稿した（いずれも第一著者）。予想以上の時間と労力を要したため、複数の論文掲載に至らなかった。 ・学会で4件、その他の研究発表会で2件の研究発表を行った（6件中5件が第一発表者）。 ・科研費の研究、他大学の研究者との共同研究については、ようやく収穫期に入る段階となった。
社会貢献	0.05	・教員免許状更新講習を開講する。 ・学部授業科目「物理学I・II」、「物理数学I・IV」を、公開授業として社会人および高校生に公開する。 ・高校を訪問し、学部、所属系の広報を行う。	0.05	・教員免許状更新講習を開講した（他の教員２名と共同）。 ・学部授業科目４科目を公開授業として社会人および高校生に公開し、延べ5名の社会人を受け入れた。 ・高校1校を訪問し、学部、所属系の広報を行った。
管理運営	0.30	・自己評価担当の副学部長となり、学部自己評価委員会委員長を務める。 ・所属系の入試検討委員を務める。募集要項の点検、入試方法の検討などを行う。	0.30	・自己評価担当の副学部長として、学部自己評価委員会を統括した。4回提出する年度計画プロジェクトシートの点検、手直しを行った。また、全学の大学院委員、年度計画策定委員を務めた。 ・所属系の入試検討委員を務め、募集要項の点検などを行った。
進路指導	0.05	4年次指導教員として、就職支援に努め、進路相談に応ずる。また、研究室の指導教員として、就職、大学院進学などについて学生の相談に応じ、学生の進路模索を支援する。	0.05	・4年次指導教員として、学生からの就職相談に応じ、企業人事担当者との窓口を務め、就職支援を行った。また、学生と保護者との面談、保護者からの問い合わせに応じた。 ・研究室の指導教員として、就職、大学院進学などについて学生の相談に応じ、学生の進路模索を支援した。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	前野　昌弘	所　属	理学部物質地球科学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.35	・「物理学基礎演習I」を、学生のレベルを考慮しながら進めていく。 ・「電磁気学」ではWeb上に講義録、コンピュータ教材のアップロードなどを行って、多角的に学生の教育支援を行っていく。 ・昨年度からのタブレットPCを用いた物理シミュレーション教材のコンテンツを整備し、他の先生にも利用していただけるようにする。	0.35	「物理学基礎演習I」「電磁気学I/II」にて、androidタブレットの学習プログラムを多数作成し、講義に利用した。学生には好評であった。 なお、眞榮平先生の「相対論」「力学」「解析力学」でもタブレットPCを使った授業を展開してもらった。
研究	0.30	超弦理論または量子重力などの分野の研究を行い、専門誌に論文を投稿する。	0.30	論文投稿には至らなかったが、弦の場の量子論についての研究を行った。その一部は指導した前期課程学生の修士論文となった。
社会貢献	0.10	・「青少年のための科学の祭典・沖縄大会」の実行委員長を務める。 ・公開講座「体感！最先端物理学の世界２０１２」の実行委員を務める。 ・高校の物理教員との連携事業を進める。 ・小学校などの初等教育への出前授業なども積極的に展開してい	0.10	科学の祭典沖縄大会、琉大公開講座はともに好評のうちに終了した。 小中学校、高等学校への出前授業の他、各種団体の行う実験教室（沖縄青少年科学作品展など）にも出展した。
管理運営	0.20	・物理系の広報委員として、物理系ホームページを管理する。 ・高等学校への広報活動を行う。	0.20	ホームページの掲示板で高校生からの質問に答えた。 高等学校3校に出前授業を行った際に琉大物理系のパンフレットを持参し、広報に務めた。
進路指導	0.05	・大学院生、卒業研究正の進路について、相談に乗る。	0.05	相談に乗った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	安田千寿	所　属	理学部物質地球科学科物理系	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・担当講義のシラバスの受講者への周知を徹底させる。 ・授業中にアンケートや確認テストを行い、学生の修得度の現状把握に努めながら授業を進める。 ・大学院の担当講義において、英語による講義を行う。 ・学生が自学自習できる環境を整える。 ・FDに関する講演会等に参加する。	0.30	・担当する科目の授業内容のシラバスや学生の自己評価のためのチェックシートを作成配布し、学生の自己学習を促した。 ・担当する1年次の科目において、「物理学入門のためのアンケート」や「微分積分に関する基礎力テスト」を行い、高校における物理学や微分積分の修得状況や印象を知り、授業の進め方に役立てた。 ・大学院の担当科目において英語による講義を行った。 ・研究室の学生がいつでも自己学習できるように、いつでもログインできるコンピューターを用意した。 ・FDに関する講演会には参加できなかった。 ・担当する大学院生2名が研究会で研究発表を行った。
研究	0.30	・研究に必要なコンピューター計算資源を獲得する。 ・論文を作成し、投稿する。 ・学会で研究成果を発表する。 ・外部資金の獲得を目指す。 ・学内や他大学等との共同研究を推進する。	0.30	・東京大学物性研究所スーパーコンピューターシステムの共同利用申請を行い、プロジェクトが採択された。 ・論文を現在作成中である。 ・日本物理学会九州支部例会で研究成果を発表した。 ・外部資金に応募したが、獲得には至らなかった。内部資金を獲得し、萌芽的研究を推進した。 ・科研費獲得のための講演会に参加した。 ・学内や他大学の研究者との共同研究を推進した。 ・「統計物理の新展開2013」のタイトルの研究会を主催した。
社会貢献	0.05	・国内外の雑誌から依頼される論文の閲読を行う。 ・担当する授業を一般市民や高校生に公開する。 ・教員免許状更新講習科目を開講する。 ・共同利用施設の運営に協力する。	0.05	・論文の閲読は行わなかった。 ・担当する科目「物理学入門I」と「物理学入門II」を一般市民や高校生に公開したが受講者はいなかった。 ・教員免許状更新講習科目「パソコンで学ぶ物理学」を開講した。 ・学外共同利用施設研究課題の審査員を務めた。 ・学内のエコボランティア活動に参加した。
管理運営	0.30	・図書関連（3つの委員会）の委員として、理学部内や学内の図書に関する業務に従事する。 ・4年次指導教員、大学院指導教員として、学生への履修指導、進路指導、生活指導等を行う。 ・大学入試や大学院入試に関するデータを収集する。 ・学科系の高等学校等への広報活動を行う。	0.30	・理学部の図書委員や全学の附属図書館運営委員、学術情報基盤資料選定委員として業務に従事した。 ・4年次指導教員として、卒研配属や卒研発表会の取りまとめ、卒業のための履修指導、年次別懇談会の開催、重要な情報のメール等での学生への提供を行った。 ・大学院指導教員として、履修ガイダンスの開催や修論発表会の取りまとめ、重要な情報のメール等での学生への提供を行った。 ・入試に関連するデータを収集した。 ・県内2つの高校を訪問し、理学部の広報活動を行った。 ・就職担当教員として、就職関連情報の学生への提供、企業への対応等を行った。
進路指導	0.05	・担当する卒研生・大学院生の就職や大学院進学に関する指導を行う	0.05	・担当する卒研生の教育実習の研究授業に参加した。 ・担当する卒研生の大学院進学に関する指導を行った。 ・担当する大学院生の就職に関する指導を行った。 ・指導教員として担当している4年次学生や大学院生の進路指導や進路相談を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）						
名　前		堺　英二郎	所　属	理学部物質地球科学科物理系	職　名	准教授
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定		業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果	
教育	0.40	3年次の指導教員として、教育指導に努める。 卒研生の研究指導を行う。 新入生の学力向上のために、物理学Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎演習Ⅱなどで成果を上げる。 カリキュラムの改善に取り組む。 担当授業の内容をさらに充実させる。		0.40	3年次の指導教員として，3年次学生の教育指導に努めた．院生に対しクリエイティブな講義を行った．卒研生については，本人が置かれている状況に柔軟に対応してきめ細かい指導を行った．物理学ⅠⅡや物理学基礎演習Ⅱの授業を担当し，新入生の基礎学力の向上に努めた．カリキュラムについては，カリキュラム検討委員として，授業分担の適正化を図るとともに，カリキュラムの改善に向けて引き続き検討を進めている．	
研究	0.30	物理学基礎論の研究をさらに進展させる。		0.30	量子力学を基本原理に基づいて理論構築する研究をさらに深めるとともに，新たに力学を基本原理に基づいて理論構築することに取り組み，重要な発展があった．	
社会貢献	0.10	理学部体験ツアーや出前講座などに可能な協力をする。 担当授業を公開授業として一般に公開する。		0.05	理学部体験ツアーや出前講座には具体的な貢献はできなかった。 学生支援委員として、学生の父兄宛の冊子の編集に携わった。	
管理運営	0.15	全学学士教育プログラム委員会の委員として、全学的な教育運営に協力する。 教授会、系会議等に主体的に参加し、学部・学科の運営に協力する。		0.15	全学学士教育プログラム委員会の委員として、小冊子の作成等に貢献した。 教授会、系会議等に主体的に参加した。	
進路指導	0.05	卒研生の進路指導を行う。 3年次の指導教員として、適切な進路指導に努める。		0.10	卒研生の進路指導を行った。 物理系の就職担当として、企業の就職説明会を開催したり、企業に対して学生を推薦するなど、学生の就職支援活動を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00			1.00		

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	柳澤　将	所　属	理学部　物質地球科学科　物理系	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・前期の物理学I, IIの講義と後期の物理学基礎演習IIは昨年からの修正・改善を心がけ、より質を高める。 ・基礎ゼミは、学生からの考え・疑問の発信を促す内容にする。	0.30	・共通教育の講義などは、昨年度よりも学生の理解のしやすさを心がけて講義をすることができ、進展があったと思う。 ・基礎ゼミを通して、学生の入学時の様子、モチベーション、学力について詳しく知る事ができた。来年度の学年担任の活動に生かしたい。
研究	0.35	・稲岡教授の科研費（基盤C）の研究分担者として昨年度より共同研究を開始している。昨年度の成果を発展させ、学会発表や論文投稿につなげる。　・大阪大学の招聘教員（無給）を兼任し、大阪大学の理論研究グループや実験グループとの共同研究を進める。昨年度出した成果よりも質・量とも、より高水準を目指す。	0.30	・稲岡教授との共同研究で、新たな計算シミュレーションの方法に展開することができた。共同の論文執筆も進んでいる。 ・兼任の関連で、共著者として著書執筆や、筆頭著者として論文の雑誌掲載を果たせた。
社会貢献	0.05	・日本物理学会や応用物理学会の定例年会に参加し、研究発表を行う。　・次世代スーパーコンピュータ「京」にかかわるワークショップ・会議にも参加し、計算科学や計算物理のコミュニティに向けた成果発信も進める。	0.10	・当初予定していた応用物理学会やワークショップに参加できた。日本物理学会は日程の都合などで参加できなかったが、応用が期待される分野関係の話題でいくつか発表ができたのはよかった。
管理運営	0.10	・物理系会議（毎週水曜）や、理学部教授会、理工学研究科前期委員会に参加して必要業務を遂行し、組織運営に協力する。 ・今年度より2年間、理学部地域貢献支援委員に就任する。会議に参加し、委員会運営に協力する。	0.05	・系会議や、理学部地域貢献支援委員として、昨年度よりも多くの業務をこなしたが、まだ分からない点も多くあったので、来年度は事務に対する理解も深めていく。
進路指導	0.20	・卒業論文研究を指導する学生を2名程度、受け入れる。学生の能力や興味によく注意し、卒業までにまとまる適切な研究テーマを慎重に与え、学生と相談する機会を十分持って協力を進める。 ・大学院進学を希望する学生がいるので、色々な情報を与えながら進路決定に協力する。	0.25	・卒業論文研究の学生2名を受け持ち研究テーマを与え卒業発表でもまずまずの発表をさせることができた。 ・１名は大学院進学で、今後は研究の基礎的事項の習得をじっくり行わせたいと思う。もう1名の学生（就職予定）は、進路を検討する時間を持てるよう、卒業論文の時間配分を工夫できたと思う。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	二木治雄	所　属	理学部物質地球科学科物理系	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・共通教育科目，学部専門科目を担当する。 ・大学院教育科目を担当する。 ・共通教育科目，学部専門科目の学生による授業評価を実施する。 ・オフィースアワー等の時間を確保し，学生の学習上の質問や相談に積極的に対応する。 ・卒業研究生，修士学生の研究指導を行う。 ・実験科目に教育補助としてTAを活用し，TAを指導する。	0.30	・共通教育科目，学部専門科目を担当した。 ・大学院教育科目を担当した。 ・各科目の授業評価を実施した。 ・学生からの質問に丁重に対応した。 ・卒研生の教育研究指導および修士学生を教育研究指導し学会発表を行った。 ・物理学実験にTAを活用し，TAを指導した。
研究	0.30	・学術論文を投稿，発表する。 ・所属する学会等で研究発表を行う。 ・国際会議等で発表を行う。 ・外部資金の獲得の準備，応募を行う。 ・他大学あるいは他研究所と共同研究を行う。	0.30	・学術論文(国際誌)を投稿し，論文化した。 ・所属する学会等で研究発表を行った。 ・日本物理学会と国際会議で発表を行った。 ・外部資金の獲得の準備，応募を行なった。 ・他大学と国内的共同研究を行った。
社会貢献	0.10	・理学部体験ツワー，オープンキャンパス等で研究や研究室紹介を行う。 ・学外の委員会の委員を務める。 ・学会・研究会等の委員を務める。 ・学内・学外からの要請があれば，積極的に対応する。	0.10	・理学部体験ツワー，オープンキャンパスで研究紹介，研究室紹介を行った。 ・学外の委員会の委員を務め，積極的に対応した。 ・学会・研究会等の委員を務め，積極的に対応した。 ・学外からの要請があるときには，積極的に対応した。
管理運営	0.25	・大学内の委員として，大学の管理運営に参加する。 ・理学部内の委員として部局の運営に寄与する。 ・系内の委員として系の管理運営に参加する。 ・学内からの要請があれば，積極的に対応する。	0.25	・大学内の委員として，大学の管理運営に積極的に参加し，対応した。 ・理学部内の委員として部局の運営に寄与した。 ・系内の委員として系の管理運営に参加した。 ・学内からの要請があるときには，積極的に対応した。
進路指導	0.05	・卒業研究の学生の就職・進学等の指導を行う。 ・修士学生の就職・進学等の指導を行う。 ・学生の就職・進学等の進路についての相談等に積極的に対応する。	0.05	・卒業研究学の学生の就職・進学等の指導にあたった。 ・修士学生の就職・進学等の指導にあたった。 ・学生からの就職，進学等の進路についての相談等に積極的に対応した。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	深水　孝則	所　属	理学部　物質地球科学科　物理系	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	共通教育科目の「物理学I、Ⅱ」、学部専門科目の「物理実験Ⅲ、Ⅳ」、「物理学基礎実験」、大学院教育科目の「誘電体論」の講義を担当する。「物理学I、Ⅱ」の担当クラスは高校で物理学を履修した学生と履修していない学生の混合クラスであり、適宜小テストなどを行い学生の理解度を確認しながら授業を進める。卒業研究生4名、及び大学院学生（修士）1名の研究指導を行う。	0.30	学部の共通教育と専門の講義及び大学院の講義を担当した。また、物理学Ⅰ、Ⅱの講義で小テストを実施し教育的効果を上げた。卒業研究生4名の指導を行い、卒業論文を作成した。大学院学生の研究指導を行った。
研究	0.35	国際的な学会誌への論文の投稿を行うことを目標として、研究を推進する。また、外部資金の獲得のため、科研費などに応募し、外部資金の獲得を目指す。	0.35	今年度、論文1篇が国際誌に掲載された。科研費に応募したが、外部資金の獲得はできなかった。
社会貢献	0.10	他大学の非常勤講師として、専門性を生かした教育支援を行い、学部学生のコンピュータ技術の向上を図る。また、国際的な共同研究を通して国際貢献に寄与する。	0.10	他大学で情報関係の講義を行い、学生のコンピュータ技術の向上を図った。日本物理学会九州支部例会の委員として大学で支部例会を開催した。国際的な共同研究は共同研究者の退職により活発に行うことはできなかった。
管理運営	0.20	学部内委員のエコ推進委員およびアジア太平洋域の大学院生の国際連携教育の運営委員として管理運営に参加する。	0.20	担当する理学部内の運営委員として会議に出席し活動を行った。また、エコ推進委員会委員長として積極的に活動を行った。
進路指導	0.05	研究室に所属している卒業研究生や修士学生の進路や就職先についてサポートを行う。	0.05	研究室の卒業研究生の就職に関してサポートを行った。
	0.00		0.00	
計	1.00		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	仲間隆男	所　属	物質地球科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	教育補助としてTAを活用する. 　物理実験II,　IV（専門科目） 卒業研究：卒研生(4人)の指導 大学院前期課程学生(4人)および後期課程(2人)の指導 　大学院前期科目：物質地球科学特別研究・物質地球科学特別演習	0.30	共通教育科目「物理学入門I＆II」および「時間と空間」を担当. 「物理実験II」を担当．実験補助としてTAを活用. 卒業研究指導(4人). 研究指導(修士課程4名，後期課程2名).
研究	0.30	学会への参加 　国内および国際学会への参加 論文発表 　論文および紀要の投稿 外部および学内資金の獲得を目指す 共同研究を行う	0.30	物理学会参加，その他研究会，研究発表21件. 国際会議(韓国)，研究発表2件. 発表論文4編. 東大物性研と共同研究.
社会貢献	0.10	オープンキャンパス，理学部体験ツアへの参加	0.10	理学部体験ツアにて研究室の紹介を行った.
管理運営	0.20	学科長 系内委員：TA担当委員，カリキュラム検討委員 学部委員：概要編集委員 極低温センター長，環境安全管理委員(全学)	0.20	学科長，系内，学部，全学委員として運営に協力した. 極低温センター長として運営に携わった.
進路指導	0.10	卒研生および大学院生へ就職指導を行う	0.10	進路指導を適宜行った．大学院進学希望者1人.
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	小田一郎	所　属	理学部物質地球科学科物理系	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	「初等量子力学」や「量子力学」では、学生たちが量子力学の基本的な事項を理解できるように、わかりやすい授業を行う。「情報科学演習」では、すべての学生が「情報リテラシー」の基礎的な能力がつくように、毎回オリジナルなプリントを用意して授業を行い、電子メール、インターネット、ワープロ、表計算、パワーポイントなどが自由自在に使えるようにする。また両科目とも授業アンケートを実施し、教育効果を検証する。卒業研究学生3名、修士課程の学生1名を指導する。	0.30	計画通り実行できたので、評価できる。
研究	0.30	この期間中に、現象論や量子重力理論に関する論文を3本以上専門雑誌に出版することを目指す。イタリアのパドヴァ大学ガリレオ・ガリレイ研究所の素粒子論グループを共同研究を継続して行う。	0.40	海外専門雑誌に3本の論文が掲載された。
社会貢献	0.10	昨年は名桜大学で行われたシンポジュームで講演を行った。今年もまた機会があれば積極的に社会活動に貢献したい。	0.00	今年は特に何も行わなかった。
管理運営	0.10	全学のアドミッションオフィス会議委員、留学生センター運営委員会委員、理学部の自己評価委員に選ばれているので、 管理運営に寄与したい。	0.10	委員会にはほとんど出席し、活動も行ったので評価できる。
進路指導	0.10	学部4年次と大学院生の指導教員として、学生の進路指導の相談にのりたい。また、研究室に大学院修士課程の2年生が1名いるので、彼の進路決定のサポートができるように個別面談を行いたい。	0.20	学部4年生3名は就職が決まった。修士の学生1名も沖縄のIT企業に就職が決まった。また、10月よりフランスから私費留学生を受け入れた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	辺土　正人	所　属	理学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	・物理学実験、時間と空間、低温物性物理学 を担当。 ・物理学実験では、レポートの評価を細分化し、次回の授業までに評価し、返却することで、学習効果を高める。 ・時間と空間では、日常生活の中の科学を図などを多用して分かり易く解説する。 ・低温物性物理学では、実験も多用し、理論的なイメージの具体化に努める。	0.20	・物理学実験においては、シラバスを学生全員に配布し、授業評価等を明確化した。毎回のレポート添削・返却することにより科学的レポート作成を効果的に指導することができた。 ・時間と空間では、時事の科学的ニュースを取り上げ、興味が湧くように努めた。また、日常生活の中の科学を図などを多用して分かり易く解説するという目標は達成できた。 ・低温物性物理学では、希釈冷凍法についても詳細を解説した。
研究	0.40	・昨年度に引き続き、取得した科学研究費の課題を進める。 ・横国大、東大物性研、東工大、九大、新潟大との共同研究を予定。 ・かご状構造を持つ化合物の試料育成・輸送特性測定をすすめる。 ・極低温センターの低温・高圧実験装置の整備を行う。 ・東大物性研客員准教授としての課題をすすめる。	0.45	・昨年度採択の科研費課題を中心に、Eu化合物の輸送特性に関する研究を行った。また、理学部の戦略的研究推進経費が採択され、課題研究を進めた。 ・與儀先生とのカゴ状構造を持つ化合物、眞榮平先生とのEuの正方晶、立方晶系のバンド計算、阿曽先生との中性子散乱実験の共同研究を行っており、学内共同研究を進めることができた。 ・横国大、東大物性研、東工大、九大との共同研究をすすめ、物性研の客員准教授として、極低温高圧下の熱電能測定システムの開発を行った。
社会貢献	0.15	・公開講座「体感！最先端物理学の世界2012」で運営・演示実験を行う予定。 ・小・中・高等学校や地域・イベント会場での出前授業を行う予定。 ・日本磁気学会の専門研究会「新磁性材料研究会」の運営と日本高圧力学会の評議員・学会誌編集員の業務を行う。	0.15	・公開講座のポスター、パンフレット作成を担当し、「超伝導の磁気浮上実験」の実演を行った。 ・今年度も小中高や地域主催イベントへの出前授業を積極的に行った。 ・沖縄こどもの国で行われた第3回NEXTセミナーに講師として参加し、地域の小中学生や一般の方に科学の楽しさを伝えた。 ・また、学会評議員、編集委員として、学会運営に参加した。
管理運営	0.15	・系の「広報委員」として系紹介パンフレット、入試関係のポスター作成等の広報活動を行う。 ・学校訪問を行い、入試説明を行う。	0.10	・系広報委員として、系紹介パンフレットと大学院募集ポスターの作成等をおこなった。学部広報委員と連携して、オープンキャンパスの運営、実務を行った。 ・6月7日に読谷高校で入試説明や理学部の魅力、大学生活について紹介した。
進路指導	0.10	・4年次・大学院生への進学、就職活動への支援・相談を行う。	0.10	・大学院生の指導教員として、履修・進路・生活指導を行った。 ・4年次・大学院生への進学、就職活動への支援・相談を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	清野光弘	所　属	理学部物質地球科学科物理系	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	・部局の目標に照らした教育目標の設定 学部専門科目として、光学および数値解析演習IIを担当する。これらの専門科目において、学習していく上で必要な基礎的事項を第1回目の授業で確認し次回以降の授業に役立てる。光学では講義内容を補うための視聴覚教育や屋外実習を行い充実を図る。数値解析演習IIでは実習を充実させて、プログラミングの基礎的な考え方を身に付けさせる。さらに、レポート作成支援として、文書処理やグラフィックソフトなどでのグラフ作成を講義とは別に随時支援する。 ・授業評価等の指摘、自らの発意に基づく授業の改善 担当している科目の授業評価アンケートを実施し、要望や改善すべき事項を検討する。授業の進展に応じて、視聴覚教材やプリントを随時見直して改善する。 ・学習相談に関する具体的取組、昨年を省みた上での改善取組 現在実施しているオフィスアワーの充実を図る。電子メールなどでの質問・相談に随時対応する。 ・研究業績の授業への反映 博士前期課程の学生2名の指導を行う。 ・教育補助者の有効活用、その資質の向上 数値解析演習IIでは実習を行うため、その教育補助としてTAを活用す	0.25	・部局の目標に照らした教育目標の設定 光学では視聴覚教育を各単元ごとに実践し、教材を用いたデモンストレーションやプレゼンテーションを充実した。計算機システム学Iでは一人一人の学生の進度に合わせて、数値解析の考え方とプログラミング技法を支援した。さらに、レポート作成に必要なDTP支援として、数式やグラフの基本的な作成方法を学生の理解度に応じて行った。 ・授業評価等の指摘、自らの発意に基づく授業の改善 毎回の授業の理解度に応じて、学習すべき内容を検討しながら授業を進め、毎時間活用する教材を見直した。 ・学習相談に関する具体的取組、昨年を省みた上での改善取組 学生が持っているパソコンの環境整備についての相談やオペレーションの進め方についてオフィスアワーで随時支援しながら、授業に役立てた。 ・研究業績の授業への反映 ゼミや研究の進捗状況をみながら指導した。 ・教育補助者の有効活用、その資質の向上 授業の準備やコンピュータのオペレーション支援の補助により作業効率が上がり授業の資質向上に役立った。
研究	0.15	・学会誌への投稿、発表 学術論文1篇、琉球大学理学部紀要1篇をそれぞれ投稿する。 ・学会での報告発表 日本物理学会1報を発表する。	0.15	・学会誌への投稿、発表 理学部紀要に2篇投稿した。 ・学会での報告発表 日本物理学会九州支部会で1報を発表した。
社会貢献	0.00	・学外の審議会、委員会等への参画 学外からの要請があれば対応する。 ・学外の各種調査、研究会等への参画 学外からの要請があれば対応する。	0.00	・学外の審議会、委員会等への参画 要請は無かった。 ・学外の各種調査、研究会等への参画 要請は無かった。
管理運営	0.30	・全学的委員会での具体的貢献 教務情報化専門委員として、大学の管理運営に参加する。 ・所属学科等の管理運営における具体的貢献 教務委員として物理系の管理運営に参加する。	0.30	・所属学科等の管理運営における具体的貢献 教務委員として学部・大学院における時間割の校正・作成を行った。さらに、全学年と各学年の時間割を作成し物理系HPに掲載した。新入生オリエンテーションで教務関係の説明を行い指導した。
進路指導	0.30	・進学指導のための具体的取組 本学大学院や他大学院研究科の入試情報の収集と研究室訪問について指導する。 ・就職支援のための具体的取組 就職活動のための情報収集や面談・面接の仕方などの指導を行う。 ・教育実習のための具体的取組 当該研究室所属の卒業研究生および修士課程1年生および2年生に対して、就学指導を行う。県内外の実習校の実習日程を調査し、実習や研究授業の取り組みについて指導する。	0.30	・進学指導のための具体的取組 大学院入試の情報収集や取り組みについてのアドバイスを行い、学習計画や方法などを指導した。 ・就職支援のための具体的取組 学生の希望者を募り指導した。 ・教育実習のための具体的取組 県内外の実習校の実習内容について調査した。さらに、実習終了後、実習生が行った研究授業についてインタビューした。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	眞榮平　孝裕		所　属	理学部物質地球科学科・理工学研究科物質地球科学専攻	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	学部学生に対しては，相対論と統計力学特論の講義と卒業研究Iのセミナー指導を行う。また，大学院学生に対しては，物性学特論の講義と特別演習，特別研究の指導を行う。相対論についてはノートパッドを導入し，学生の理解度を把握しながら視覚的に授業を進めていく。物性学特論については，物性物理学の基礎的な事項から出発して，研究の最前線で行われているテーマについても講義する。 卒業研究生，大学院生を指導する。 講義時間以外についても，学生からの質問があれば積極的に指導する。	0.30	学部学生に対しては，力学の講義と卒業研究Iのセミナー指導を行った。力学については口頭試問を実施し，学生の理解度の把握に努め、授業に活かした。また，大学院学生に対しては，物性学特論の講義と特別演習，特別研究の指導を行った。物性学特論については，物性物理学の基礎的な事項から出発して，研究の最前線で行われているテーマについても講義を行った。 卒業研究生，大学院生を指導した。 講義時間以外にも，学生からの質問があり指導した。
研究	0.40	科研費基盤研究（C）「強相関化合物におけるf電子の遍歴および局在の二重性の解明」研究の遂行のため解析を進める。 関連論文を国際紙に投稿することを目標にする。 関連する国際会議や所属する学会で研究発表を行う。 他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を行う。	0.40	科研費基盤研究（C）「強相関化合物におけるf電子の遍歴および局在の二重性の解明」研究の遂行のため解析を進めた。 関連論文を国際紙に投稿した。 関連学会にて研究発表を行った。 他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を進めた。
社会貢献	0.15	琉球大学公開講座へ貢献する。霧箱を製作し，「霧箱で素粒子を見る」というタイトルで講演，演示実験行い物理の魅力の紹介を行う。 県内の小中高校および公的機関に出前授業を行う。 沖縄県商工会連合会との連携を進め，合同会議や講演などに参加する。	0.15	琉球大学公開講座：体験！最先端物理学の世界2012「ボーア模型百周年」へ貢献した。霧箱を製作し，「霧箱で素粒子を見る」というタイトルで演示実験行い物理の魅力の紹介を行った。
管理運営	0.10	系内システム委員として，メールサーバー，計算機サーバーの管理運営を行う。 紀要編集委員として，研究成果のとりまとめを行う。	0.10	系内システム委員として，メールサーバー，計算機サーバーの管理運営を行った。 紀要編集委員として，研究成果のとりまとめを行い2つの号を発行した。
進路指導	0.05	卒業研究生，大学院生の進路に対する助言等を行う。 学生からの相談があれば積極的に指導する。	0.05	卒業研究生，大学院生の進路に対する助言等を行った。 学生からの相談があり，助言と指導をおこなった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	田原 周太	所　属	理学部 物質地球科学科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	物理学実験で1年生への実験指導を行う。また、大学院生を対象とした講義「構造不規則系の物性論」を開講する。卒業研究指導でゼミによる指導、実験の指導、卒論の指導などを行う。	0.35	物理学実験で工学部及び医学部の学生の実験指導を行った。大学院生向けに「構造不規則系の物性論」を開講した。学部3年生向けの科目「実験IV」を分担した。1年生に対し、基礎ゼミを担当した。卒業研究ではゼミによる指導、実験指導、卒論指導などを行った。
研究	0.40	超イオン導電体や溶融塩混合系に対する高エネルギー粒子線を用いた散乱実験やイオン伝導率測定、誘起分極イオンモデルを用いた分子動力学シミュレーションによるイオン拡散の研究を行う。また、大強度陽子加速器施設J-PARCと連携をとり、超イオン導電体に対する外場印加構造の測定装置開発を進める。	0.35	超イオン導電体や溶融塩混合系に対して、SPring-8における高エネルギーX線回折実験やJ-PARCにおける中性子非弾性散乱実験を行った。溶融塩混合系に観測される中距離構造について、分子動力学シミュレーションによって、その起源を突き止めることに成功した。
社会貢献	0.05	日本物理学会九州支部例会の会場設営などを行う。シンクロトロン光大学間連携会議委員として、活動を行う予定である。	0.10	予定通り、日本物理学会九州支部例会の実行委員長補佐として、会場設営などに協力した。また、第12回琉球大学物性研究会と第12回日韓中性子科学研究会の実行委員として活動を行った。シンクロトロン光大学連携会議委員としての活動は3/14に予定している。
管理運営	0.10	理学部物質地球科学科の物理系会議(毎週水曜日)へ参加する。研究科委員会(前期)にも参加する。1年次指導教員として、1年次生の大学生活をサポートする。理学部選挙管理委員会委員として活動を行う。物理系懇親会幹事として活動する。	0.10	出張などのやむを得ない場合を除き、物理系会議にほぼ参加した。研究科委員会(前期)にもほぼ参加した。1年次指導教員として、修学指導や年次別懇談会など、学生支援活動を行った。理学部選挙管理委員として、教員人事に関する作業や学長選挙に関わる作業を分担した。物理系懇親会幹事として活動を行った。
進路指導	0.05	研究室配属学生へ就職関連の情報提供を行うなどして支援する。1年次指導教員として、情報提供を行う。	0.10	1年生に対し、キャリア教育に関する講演会の案内を指導教員としてメールで転送した。研究室配属学生に対しても、その都度、募集に関する情報提供を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	林大五郎	所　属	理・物質地球科学科地学系	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	global tectonics と simulation tectonics と地球の科学の講義	0.30	林　大五郎,2012.　Channel flow model 検証の問題点.　日本地質学会第119年学術大会、大阪（9月17日）. Hayashi, D., 2012. Re-considering the syn-convergence extension derived from vorticity analysis . IAGR2012, 19-21 Nov. 2012, Adelaide, Australia.
研究	0.70	global tectonics と simulation tectonics に関する研究	0.70	林　大五郎,2012.　Channel flow model 検証の問題点.　日本地質学会第119年学術大会、大阪（9月17日）. Hayashi, D., 2012. Re-considering the syn-convergence extension derived from vorticity analysis . IAGR2012, 19-21 Nov. 2012, Adelaide, Australia.
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	中村衛	所　属	理学部物質地球科学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	講義にて学生の発言を求める工夫をおこない、授業に積極的に参加させる。	0.20	学生アンケートと同時に小テストを実施し、授業で出た計算式を使用して実際に解いてもらう試みをおこなった。最終講義時の学生アンケートでは、学んだばかりの式を自分の力で解くことで公式の意味がより理解できたと好評であった。また、毎回約十数人を指名して授業内容に関する簡単な質問を行い、学生の理解度を把握しながら授業を進めた。
研究	0.30	琉球海溝での巨大地震研究を推進するため、他大学との共同研究を進める。研究成果を国内外で学会発表・論文投稿する。	0.30	名古屋大および台湾地球科学研究所との共同研究で海底地殻変動観測を沖縄本島沖で実施した。宮古島にて津波堆積物調査を台湾地球科学研究所および産業技術研究所とともに実施した。台湾にて津波堆積物野外調査を桜美林大との共同研究で実施した。査読論文2本投稿中、査読無論文2本、国内発表4回、国外発表2回。
社会貢献	0.25	マスコミおよびインターネットを通じた研究広報活動を行う。一般向け講演活動を行い防災活動の普及に努める。	0.30	一般向け・教員向け等に地震津波防災に関する講演を11回実施した。研究成果および沖縄の地震津波に関する取材を新聞各社（沖縄タイムス、読売新聞、産経新聞、共同通信社）から受け、掲載された。沖縄県津波被害想定検討委員会に委員として参画した。
管理運営	0.10	電算化委員会委員として計算機室の運営および理学部内情報システム運営に務める。	0.10	電算化委員会委員および琉球大学全学情報システム運用委員会委員として全学情報セキュリティ業務・およびセキュリティ業務に関する学内研修会に参加した。研究推進委員会および乗船実習委員会にて活動した。
進路指導	0.10	就職セミナーおよびインターンシップへの学生の参加を促す。就職活動状況の把握に努める	0.10	1月の就職セミナへ参加を促した。今回は進学者（学内・他大学）が多い結果となった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙1）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	松　本　　剛	所　属	理学部　物質地球科学科　地学系	職　名	教　授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・天文専攻希望学生に対して、国立天文台と連携して３年次から計画的に卒業研究のための観測計画を立案するよう指導するとともに、引続き独自に天文に関する基礎教育を行う。 ・教員養成運営委員として、理学部から質の高い教員を輩出するよう履修指導し、またカリキュラムの検討を行う。	0.30	・セミナー（海洋地学研究法１・２）を通して天文分野の基礎教育を行いながら、卒業研究のテーマを選択した。これについては、２月下旬に国立天文台施設を訪問して、相手方教員と調整する予定。 ・「介護等体験」の理学部での事前指導の体制が不充分であったため、次年度に向けた改善案を検討し、４月以降、新制度で実施することとなった。
研究	0.30	・日韓協力による深海掘削研究の推進を行う。 ・中央海嶺の沈みこみやマイクロプレートの生成・発達に関するモデリング研究に着手する。 ・琉球域での活断層の発達に関する論文を完成させ、投稿する。	0.30	・日韓検討会については、今年度は開催されなかった。2013年５月に開催すべく、準備を行った。 ・本テーマの投稿中の論文について、査読者の意見をもとに、「海溝近傍でのリソスフェアの厚みの異常」と云う観点による吟味を経て、再投稿を行った。 ・本テーマについては、英文校閲を経て、投稿に向けた最終段階にある。
社会貢献	0.10	・教員免許更新講習として、沖縄県域で想定される自然災害と防災に関する題材を取扱い、教室で使用可能な教材の開発に資する。 ・共通教育科目「海洋の科学」を公開授業（一般向及び高大連携）とし、海洋に関する知識の普及に資する。	0.10	・防災教育のための教材作りを題材とした講習を西原と石垣で各１回実施した。計15名（西原９、石垣６）が受講した。 ・公開授業の登録者は、一般受講者計６名（昼間４、夜間２）、高校生３名（全て昼間ｸﾗｽ、１回のみ聴講）であり、海に関する知識の普及に努めた。 ・この他、読谷高校での出前授業、修学旅行生向け体験授業を行った。
管理運営	0.20	・就職センター長として、学生の就業意識の向上、進路決定率向上、低学年からのキャリア形成意識向上を図る。 ・理学部学生指導主任、及び全学の学生生活委員会委員として、理学部のみならず全学の学生生活の向上と修学し易い環境の整備に資する。	0.20	・学内合同企業説明会、就職ガイダンス、県外就活支援事業、海外職場体験ツアー、保護者との懇談会等を主宰した。また、今後のキャリア教育の在り方について、大学教育センターと共に検討を行い、担当理事宛答申を行った。 ・学生生活委員会の専門部会委員長として、各種奨学金・授業料免除者の選考を行うとともに、そのための規則・申し合せ類の見直しを行った。
進路指導	0.10	・４年次学生について、将来の希望職種や希望進路をよく聞き、それに対応した指導を行うとともに、セミナーの日程を調整する等により就職活動中はそれに専念し易い環境を作る。 ・博士後期課程進学希望の前期課程生に対して、研究者となるためのキャリアデザインに関する助言を行う。	0.10	・就職希望の４年次学生に対し、就職活動中の各種助言、エントリーシート添削等を行うことにより、５月に採用内定を得ることができた。 ・大学院生に対しては、外部研究機関との共同研究に関連したテーマを与え、外部研究者の指導を受けられる体制を作るとともに、受託院生の制度の活用を勧めた。
	0.00		0.00	
計	1.00		1.00	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	藤田和彦	所　属	理・物質地球科学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	1．担当科目の講義形式と内容の改善に努める。 2．来年度開講予定の新しい講義・実習の準備を進める。	0.30	1．今年度のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤーを受賞した。 2．来年度開講予定の「地層学」の準備を進めた。
研究	0.30	1．国際学術雑誌への論文受理を目指す。 2．国内外の関連学会にて研究成果を発表する。 3．新しく立ち上げた香港大学との国際共同研究を進展させる。 4．次年度大型研究費の獲得に向けた準備を進める。	0.30	1．国際誌へ2本の共著論文を公表した。その他、和雑誌や本に寄稿した。 2．学生と共同でJpGUなどにて研究成果を発表した。 3．香港大学との国際共同セミナーを実施した。 4．「生きている有孔虫に関するフィールドワークショップ」を主催者の一人として成功させた。
社会貢献	0.10	教員免許更新講習「琉球列島の成り立ち（野外地質巡検）」を準備・実施する。	0.10	9月末に20名に対して教員免許更新講習（野外地質巡検）を実施した。
管理運営	0.20	1．理学部の各種委員会（広報委員会、紀要編集委員会、将来計画委員会）の活動に積極的に取り組む。 2．地学系の広報活動（ホームページの更新・パンフレットの作成・高校訪問等）に取り組む。	0.20	1．オープンキャンパスの準備や紀要の編集に取り組んだ。 2．2校の高校を訪問し、理学部や地学系の紹介を行った。
進路指導	0.10	学生とのコミュニケーションを常に心がけ、進路の相談に当たる。	0.10	適宜、学生と個別に進路の相談に当たった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。